

【高1講座紹介】(2025年度後期開放講座)

講師名	宮城 智彦	渡邊 晃男	秋田 陽哉
タイトル	41.高校英語への足掛かり	42.高1数学	14.難関大攻略のための現代文
対象学年	高1	高1内進生	高1
講座区分/ 募集枠	通年/ あり	通年/ あり 若干名	通年/ あり
講座回数(予定)	14	10	12
曜日・時間	木 18:30～20:00	水 18:15～19:45	木 18:10～19:40
講座内容	中学レベルの英文法を復習しつつ、英文を正確に読む上で大切な『主語』『述語動詞』『目的語』『補語』といった英文の構造を見抜く練習をしていきます。毎回の授業初めに文法の復習と英作文を行います。簡単な和文英訳から入試レベルの和文英訳まで、自分の力がメキメキ付くのを実感しつつ取り組みます。その後、授業の主題として長文問題で文構造を見抜く練習をしましょう。英語の基礎である文法を復習しつつ、英文を書く・正確に読むといった中学英語から一步レベルの上がった『高校英語に備えたい』方向けの講座になっています。	フォーカスの***レベルの内容から高1で受験する模試レベルの問題を扱います。基本的に教科書内容は理解しているものとして進める予定です。詳しく知りたい人は、直接聞きに来てください。生徒本人の意思で、やる気のある人のみ募集しています。	国語の大学入試過去問を用いて、演習・検討・解説を行います。共通テスト・新カリキュラムへの移行に伴い、大学入試では弾力的な記述力が求められるようになりました。国語は、選択肢と記述の学力相関が低いと論じられる時期もありましたが、近年では記述的な創造力(想像力)を前提とした選択肢の出題も増えています。この講義では、協働性や演繹性など、弾力的な創造力(想像力)の育成を目指して以下の順序で演習を行います。(1)大学入試を解く、(2)受講者間で解答を共有・検討を行う、(3)解説を行う。 *講義の特性上、定員10名の講座となります。
教材費	550円	0	0

講師名	安藤 裕司	長村 侑輝	三輪 篤
タイトル	15.古典読解力向上講座(ハイレベル)	16.高1古典基礎演習	17.高1物理
対象学年	高1	高1	高1
講座区分/ 募集枠	通年/ あり	通年/ あり	通年/ あり 若干名
講座回数(予定)	10	12	11
曜日・時間	月 18:05～19:35	火 18:15～19:45	月 18:15～19:45
講座内容	中3までで古典読解の基礎がある程度身についている人向けに、さらなる読解力・記述力向上を目指す講座です。単なる読解や文法説明だけでなく、記述解答の作り方なども行っていきます。扱う素材は、標準～ハイレベルのものです。また、既習事項だけではなく、少し先取りする部分もあります(積極的に先取りをするものではありません)。予習の必要はありません。初回は古文の文法書・明説漢文・単語帳を忘れずに持ってきて下さい。 *講義の特性上、定員15名の講座となります。	古典(古文・漢文)の基礎レベルの定着を目指す講座です。高校からは模試でも本格的に古典が出題され始めます。高1の間に古典の基礎を定着させることで、国語の得点向上はもちろんのこと、「高2～高3でその他の科目に注力できる」という大きなアドバンテージを獲得できます。問題演習を通じて、古文の用言・助動詞・助詞(+敬語)、および漢文の基礎的な句形を復習していきます。記述問題については添削も行います。古典文法について「言われてみればわかるんだけど…」「覚えてるつもりだけど問題を解くのはなあ…」。そんな皆さんに向けた講座です。受講者の皆さんの様子を見て、レベルは微調整しますので、古典が苦手でも積極的にご参加ください。	本講座は、「問題演習」を一緒に行っていく講座で、「問題を解く力」に重点を置き、解法のコツをつかんでもらいます。(ただし、日頃の授業の定着度が低いような場合は、参加者の意見を聞きながら、授業のフォローを優先して行います) 特に難関大学や医学部を狙う人は、物理が得点源になるように、今から物理を「得意科目」に育てていきましょう。授業レベルは「基礎レベル」でなく「応用レベル」ですので、ご注意下さい。
教材費	約1,000円	約800円	0

【高2講座紹介】(2025年度後期開放講座)

講師名	笹村 隆	三輪 篤
タイトル	河合塾難関大対策特別講座 21.「難関英語」(トップ・ハイレベル)	23.高2物理
対象学年	高2	高2 理系生
講座区分/ 募集枠	通年/ あり 若干名	通年/ あり 若干名
講座回数(予定)	13	8
曜日・時間	月 18:00～19:30	金 18:15～19:45
講座内容	医学部医学科・旧帝大・早慶大などの難関大現役合格をめざすため、難関大入試で求められる読解力・内容把握力・表現力を養成していく講座です。 授業冒頭でその日学ぶ英文素材の導入となる英文を聴き取り、その後、厳選した良質の長文読解問題に取り組み、難関大入試で必要なリーディングの力を育成します。また、さまざまな考え方・表現の仕方を学び、難解な文章を読み解く力を身につけます。 授業後半では、前半で学んだ内容に関連した英文のライティングを行うなど、難関大入試に対応できる答案作成力を身につけます。	本講座は、「問題演習」を一緒に行っていく講座で、「問題を解く力」に重点を置き、解法のコツをつかんでもらいます。 具体的には、入試物理の「典型問題」の解き方を高2中に身に付けてもらいます(ただし、日頃の授業の定着度が低いような場合は、参加者の意見を聞きながら、授業のフォローを優先して行います)。 特に難関大学や医学部を狙う人は、高2のうちに、高2まで習った範囲を受験で戦えるレベルにまで高めましょう。授業レベルは「基礎レベル」でなく「応用レベル」ですので、ご注意下さい。
教材費	0	0

【高3講座紹介】(2025年度後期開放講座)

講師名	加藤 吉博	宮木 稜太	三輪 篤
タイトル	31.旧帝大長文演習	32.慧眼を得る数学	33.高3物理
対象学年	高3	高3	高3 理系生
講座区分/ 募集枠	通年/ あり	通年/ あり	通年/ あり 若干名
講座回数(予定)	7	8	5
曜日・時間	金 18:15～19:45	木 18:15～19:45	水 18:15～19:45
講座内容	予習はなし。1回完結型の授業になります。 授業の初めは20分ほどのウォームアップ活動を行い(英作文、英文解釈などを予定)、その日の長文を読み、本文解説を行います。長文読解の取り組み方から解答の作り方まで総合的に扱います。 予習も課題もありませんので、定期的な長文読解演習と英語に触れる機会としてご参加ください。扱う英文のレベルは旧帝大レベルを想定しています。	扱う分野:数学IAIIB 対象:数学の学力検査で記述を要する大学のうち、名古屋大学またはそれに相当する大学において、周りの合格者並み程度またはそれを超える数学力をつけて合格したい者。 (文理は問いません。自分が当てはまるか不安に感じる場合は、一度宮木の元へ相談しにきてください。) 高校数学の枠組みに不必要にとらわれることなく数学の本質を理解し、それを受験に生かすことができるようになるための講義を行います。この講義で、様々な大学の数学試験において必要となる思考の基盤を手に入れてください。そして、おのおのの志望大学に向けた対策を各自で怠らず行ってください。この講義の取り組み方は、はじめの講義で簡単に説明します。 (注意:IAIIB全範囲をくまなく網羅するわけではありません。また、名古屋大学の過去問対策に特化するわけでもありません。)	本講座は、授業の「フォローアップ」と「レベルアップ」を同時に行っていく講座で、「問題を解く力」はもちろんのこと、「物理を深く考えることができる素養」を身につけていきます。 現在習っている「波動(光)」が終わると、本格的に「電気」「磁気」「原子」と続いていきます。高3では、授業が週4のスピードで進んでいきます。そしてこのペースで、それぞれの範囲を受験(模試)レベルに完成させていかなければなりません。物理に不安を感じている人は一緒に勉強しましょう。 授業レベルは「基礎レベル」でなく「応用レベル」ですので、ご注意下さい。
教材費	約800円	0	0